



2012. 3  
NO.

# 17

発行／猪苗代湖・

裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会

住所／福島市杉妻町2番16号

(事務局 福島県生活環境部水・大気環境課)

TEL 024-521-7258 FAX 024-521-7927

■ホームページ／<http://www.ht-net21.ne.jp/~kosuikyo/>

■E-mail／[kosuikyo@ht-net21.ne.jp](mailto:kosuikyo@ht-net21.ne.jp)

みずみらいつうしん

# 湖美来通信

「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖 裏磐梯」

ボランティア清掃活動報告	2
猪苗代湖ズ紅白出場応援キャンペーン活動報告	2
水環境保全団体等の紹介	3
水環境保全推進員活動紹介(金野志帆さん)	5
協議会からのお知らせ	5~7
県からのお知らせ	8
編集後記	8



「桧原湖 春」  
清野 文彦

「猪苗代湖岸のボランティア清掃」を開催しました

～10月22日 猪苗代湖小黒川河口にて～



イクリングロード脇の土手のごみを撤去していただいたほか、福島県環境センターの若手職員が小黒川に入り、川底にあるごみを回収するなど、最終的には可燃ごみ780kg、不燃ごみ680kgを回収することができました。

当協議会では、社団法人福島県産業廃棄物協会様との共催により、10月22日(土)に猪苗代湖岸(小黒川河口)におきまして、ボランティア清掃を実施しました。



朝から時より強く降るあいにくの雨模様にもかかわらず、187名もの皆さまに参加いただきました。ヨシを刈り取った跡地、サ



祝・紅白出場

猪苗代湖ス応援キャンペーンを行いました

～12月30日 猪苗代スキー場・ヨークベニマル猪苗代店にて～

県内出身のミュージシャン山口隆さん(ヴォーカル 活動バンド「サンボマスター」)、松田晋一さん(ドラム 活動バンド「THE BACK HORN」)、渡辺俊美さん(ベース 活動バンド「TOKYO NO.1 SOUL SET」)、箭内道彦さん(ギター 活動バンド「風とロック」)の4名により2010年に結成した猪苗代湖ズ。「ふくしま」が好き」の歌で県内の皆さまはよくご存知のことと思います。



猪苗代湖ズが年末恒例のNHK紅白歌合戦への出場が決まったことから、当協議会では東日本大震災後に県民に勇気や希望を与え続けてくれたことに感謝するため、応援キャンペーンを行いました。当日はスキーヤー、スノーボー



ダー、そして年末の買い物客など大勢の方々から猪苗代湖ズへの応援メッセージを寄せられました。これを関係者を通じて紅白歌合戦の楽屋に張り出してもらいました。

メンバーも大変喜んでくれたとのこと。福島県を応援し続ける猪苗代湖ズ。当協議会はその猪苗代湖ズを応援し続けます。



## 「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金 水環境保全活動支援事業活動紹介

### 猪苗代湖の自然を守る会

前号に引き続き、「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金による支援を受け、猪苗代湖で精力的に活動されている団体を紹介します。

「猪苗代湖の自然を守る会」は、平成15年度から始まった湖美来基金助成制度の創設以前から猪苗代湖の自然環境を守っていくと各種事業を展開してきました。

猪苗代湖の水環境を保全するため、湖岸清掃活動、水質調査、魚種調査及び駆除、水鳥の定点観測などの活動のほか、猪苗代町立翁島小学校の児童らと一緒に水質調査を行うなど、多岐にわたる水質保全活動を行っています。



▲作業前の猪苗代湖北岸（沢目地区）

このうち、近年猪苗代湖岸で増殖している植物である「ヒシ」の除去の取り組みについて紹介いたします。

「ヒシとは、水底に根を張り水面に葉を浮かべる浮葉植物で、一年草の水草です。日本全国の池沼湖に分布し、猪苗代湖でも以前から生育しています。「野口英世記念館」裏の猪苗代湖岸は、かつては砂浜があり湖水浴ができていました。ところが現在は、夏場には猪苗代湖北岸の白鳥浜から高橋川にかけてはヒシに覆われてしまい、湖水浴どころではありません。さらに砂浜だった面影は全く見られず、今では泥に覆われてしまっています。

猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見代表によると、「ヒシが枯れ、それが北岸の浅い湖底に沈み、それが腐敗して堆積し、この堆積物が栄養源となりヒシが生育するという循環作用によって、砂浜が泥とヒシで覆われ、湖岸での水遊びすらできなくなりました」とのこと。この状況は年々悪化してきており、回会では、それを少しでも改善し、さらに将来、砂浜を復活させて、昔この地に生息していたシジミを戻そうと今年度からヒシの除去を始めました。

ただ、このヒシを一掃することは現実的には不可能です。そのため、今年度から北岸の一定の区域を継続して除去することにより、前述の循環を



断ち、ヒシの生育状況を観察しながら、次の地点へと広げていくという手法による除去が計画されています。また、ヒシは一つの株に5〜7の種子ができますが、9月上旬頃から10月上旬頃にかけて株から離れ、種子が全て実った場合、翌年には単純計算で5倍以上のヒシが生育することになるため、生育の循環を止めるには夏場に除去する必要があるとのこと。



▲作業中のようす

除去の手順は次のとおりです。

① ヒシを湖底から引き抜く。

根が細いため、比較的容易に引き抜けます。

② 湖岸まで運ぶ。

引き抜いたヒシを小舟などに集めて、陸まで運びました。

この作業では、ヒシに付着しているアオミドロをはじめ水草も同時に回収することになりますが、多量の水を含んでいるため、大変な作業です。

③ コンテナに積み、軽トラックで運搬し、たい肥場まで運ぶ。

軽トラックに積載する作業、軽トラックからたい肥枠へ入れる作業ですが、こちらも大変な労力です。



▲作業後の猪苗代湖

④たい肥枠に一定期間保管し発酵させ、肥料として使用する。



▲ヒシを調理中（油で炒めてたべるのも良い）

また、ヒシの種子は食べることができません。猪苗代町商工会女性部の方がヒシの種子を集め、調理実習をされています。

生でも食することができますが、調理したもののほうがよりおいしいとのこと。一説には健胃、強壮などの薬効もあるとのこと。猪苗代湖では増えて欲しくは



▲ヒシの実入り大福

ありませぬが、ヒシが採れるあいだは地元の商品として活用できないか模索中とのこと。

こうした取り組みは、今年度、猪苗代湖の自然を守る会の会員の手によって行われてきましたが、「来年度はボランティアの力添えをいただきたい」とのこと。



▶ヒシに覆われていないところは、今でも猪苗代湖岸でこのようなボランティアが採れる場所があります。

討しております。詳細が決まりましたら当協議会ホームページ等でお知らせしますので、是非とも御協力をお願いします。

当協議会で

もこうした水環境保全に対する実践的な取り組みに対し、広くボランティアを募集して参加できる仕組みを検討



▲このような砂浜を取り戻したい（猪苗代湖の自然を守る会鬼多見代表談）  
場所：猪苗代湖北岸部（前田地区）

## 水環境保全のための 地域での取り組み

舟津農地・水・環境保全会



▲用水路に除じんスクリーンを設置しているようす

このコーナーでは、地域が一体となって水環境保全に取り組んでいる団体を紹介いたします。

舟津農地・水・環境保全会は、郡山市湖南町舟津地区で活動している団体です。地元の舟津行政長、組長などが全世帯に呼びかけを行い、今では、農家、非農家を問わず当該地区160世帯すべてが、猪苗代湖の水環境を保全することがこの地に居住する者の責務であるという共通認識の下、各種活動を展開しています。

具体的には、刈草などが湖内に流入しないようにするため、自作の除じんスクリーン（草止め器具）を地区内水路の23カ所に設置し、特に、刈草流入の懸念のある大きな排水流入口には畳2畳ほどもある除じんスクリーンを設置するとともに、そのすぐ下流に

木炭を入れた籠を置き水質の浄化を試みたりもしています。

また、除じんスクリーンに留まった刈草によつて排水路が詰まらないようにするため、農繁期には午前と午後の2回に分け草を除去するなど、管理を徹底しています。

農家でも、代かき時期には河川への浮き藁流出を抑えるため、刈取り後稲わらを鋤き込む「秋耕」の取り組みが徐々に浸透してきています。

さらに、5年ほど前から、舟津川河口など10地点で毎月3回水質調査を行い、汚濁状況を監視しています。農家の方々は化学肥料を低減するなどの対策を講じてきましたが、農地からの排水はどうしても猪苗代湖を汚す原因となつてしまいます。同保全会の皆さまは、地域が一体となって自分達のできる範囲で水を汚さないような取り組みを実践しており、その姿には感動しました。

湖南町舟津区長である菅野吉勝さんは「こうした取り組みをモデルケースにしてもいい、猪苗代湖流域、さらには県全体に広げていけるよう、今後も水環境保全に取り組みたい」とのこと。

舟津区は、昔から日本人が持ち合わせていた結いの精神が浸透していると感じさせる地区でした。こうした取り組みが、猪苗代湖を全国に誇れるものとし、郡山市や会津若松市など都市部の飲料水を守つてくれているのだと実感させられました。

## 推進員紹介



水環境保全推進員  
金野 志帆さん

金野志帆さんは、北塩原村松原地区の「五色沼探勝路」を担当する推進員です。

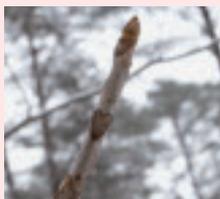
五色沼探勝路を歩くと、毘沙門沼や青沼などエメラルドグリーン、コバルトブルーの色をした10あまりの美しい沼を眺めることができます。ここでは、県内外から老若男女を問わず多くの方が観光に訪れます。そのため環境保全の啓発を行う時には、遠方などから楽しみに訪れた観光客の気分を極力害さないよう探勝路に入る前に注意事項を説明するなど、細やかな気配りをしながら活動をされています。



▲五色沼探勝路を巡回中

この探勝路は、春から秋にかけて自然観察や湖沼の景色を楽しむに散策に訪れる方が多く、冬はスノーシューを履いてのトレッキングが人気のため、一年を通して啓発活動を行っています。冬

は大変かと思いきや、「ノウサギ、リス、キツネ、テンなどが雪上にくっつきりと足あとを残していつくれるので、動物がより身近に感じられる」とのこと。また、ウルシの木から葉が落ちた後の枝には、ハート型の紋様がくっつきりと浮き出ていることを教える



▲ウルシの枝（ハート型の紋様）

なお、冬場のトレッキングの注意点として「雪上の道は積雪や風、気温によつて刻々と状態が変化するため、人の足あとだけを頼りに歩くのではなく地図などで湖沼の位置を確認しながら散策してください。また、岩と岩との間にできる隙間に落ちてしま

う「踏み抜き」の危険もあります。地元ガイドさんの案内を受けることが楽しいツアーの一番の近道です」とのことです。



▲ノウサギの足あと

## 家庭からの

### 水環境保全実践ワンポイント!

#### トイレの水の節約方法

用意するもの 500mlのペットボトル

- ①ペットボトルに水（お風呂の残り湯など）を満水にする。
- ②蓋をしっかりと閉める。
- ③このペットボトルをタンク内に沈める。

これでトイレを流す度、1回500mlの節水ができます!

注意)あまり大きいペットボトルや節水型のトイレでは、パイプの故障の原因になることがあるので気をつけてください。



## 寄付御礼

平成23年10月～  
平成24年2月

湖美来基金に御覧の方々から寄付をいただきました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

福島県日本調理技能士会 様	[北塩原村]	(23年10月)
三宅 直彦 様	[東松山市]	(23年12月)
裏磐梯ホテルの会 様	[北塩原村]	(23年12月)
磯谷 勝昭 様	[春日部市]	(23年12月)
佐野 常雄 様	[湯川村]	(23年12月)
中村 玄正 様	[郡山市]	(24年2月)

募集  
します!

平成24年度

# 「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金 水環境保全活動支援事業

猪苗代湖・裏磐梯湖沼流域で、  
主体的、自主的に水環境保全活動を実施する団体や個人に対し、  
活動経費を助成しています。

## 助成対象事業

- 流域の水環境の保全に関するもので、
- ① 水生動植物の保護・育成、森林の保全や整備、水環境に配慮した農林水産業の実践、水辺の清掃活動などの**実践活動事業**
  - ② 河川、湖沼の水質調査、水質汚濁、水質浄化に関する調査研究、水生動植物の調査研究、河川、湖沼の生態系調査などの**調査研究活動事業**
  - ③ 水利用施設や水辺の環境に関する観察会、学習会、研修会などの**普及啓発活動事業**
  - ④ 水に関わる伝承歴史等の掘り起こしやその保全、川や浜における人々の暮らしの変遷の調査などの文化・歴史等に関する**調査普及活動事業**など

## 助成額

- 1 団体(個人)当たり20万円限度

## 助成事業の実施期間

平成24年4月～25年2月の期間に  
実施する事業

## 募集期間

### ◆第1期

平成24年3月19日(月)～5月11日(金)  
(申請書類は5月11日必着)

### ◆第2期

平成24年8月1日(水)～8月31日(金)  
(申請書類は8月31日必着)

## 問合せ先

猪苗代湖・裏磐梯湖沼  
水環境保全対策推進協議会事務局  
(福島県水・大気環境課)  
電話 024-521-7258

なお、募集要綱や申請書類などはホームページ  
<http://www.ht-net21.ne.jp/~kosuikyo/>  
からダウンロードできます。



▲水質調査中のようす



▲発表会のようす

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全啓発用DVD

「未来へ残そう猪苗代・裏磐梯の美しい湖」



猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全  
対策推進協議会では、猪苗代湖及び裏  
磐梯湖沼群の貴重な水資源・観光資源  
としての価値を広く知っていただき、未  
来の世代に引き継いでいくための  
DVDを制作しました。

DVDでは、地元で伝わる弘法大師  
の逸話から始まり、湖美来イメージキャ  
ラクター「水恋」と「湖春」の対話によ  
り、猪苗代湖や裏磐梯の湖の成り立  
ち、水質の神秘、水利用の歴史、水環境  
の現状、美しいまま未来の世代に引き  
継いでいくための取組みについて紹介  
しています。

湖春「自分が大人になっても…そのずつ  
とずつと先も、湖の水がきれいだとうれ  
しいな。」  
水恋「そのために、何ができるのか、それ  
を考えてみて。」

当協議会の事務局である以下の窓  
口で貸出しをしておりますので、ぜひご利用  
ください。  
なお、電話・メールでのお申し込みも  
可能ですので、お名前、ご住所、連絡先  
をお知らせください。

- 福島県水・大気環境課  
〒960-8670 福島市杉妻町2-16(西庁舎8階)  
電話024-521-7258 e-mail mizutaiki@pref.fukushima.jp
- 会津若松市市民部環境生活課  
〒965-8601 会津若松市東栄町3-46  
電話0242-39-1221 e-mail kankyo@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp
- 郡山市生活環境部生活環境課  
〒963-8601 郡山市朝日1-23-7  
電話024-924-2731 e-mail seikatukankyou@city.koriyama.fukushima.jp
- 北塩原村商工観光課  
〒969-2701 耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093  
電話0241-32-2511 e-mail kankyou01@vill.kitashiobara.fukushima.jp
- 猪苗代町企画財務課  
〒969-3123 耶麻郡猪苗代町字城南100  
電話0242-62-2112 e-mail kikaku@town.inawashiro.fukushima.jp

「ふくしま湖美来WAON」カードが発売されました!



▲表面

▲裏面

福島県とイオン株式会社は、昨年9月、県産品の  
販路拡大・観光振興など11項目で双方が持つ資源  
を有効活用し、福島県の一層の活性化と県民サービ  
ス向上など、広範囲にわたり協働して取り組んでい  
くことに合意しました。

その合意内容の一環として、イオンリテール株式  
会社が発行する電子マネー「ふくしま湖美来  
WAON」(写真のとおり)により買い物をした場合、  
利用額の0.1%相当額をイオンリテール株式会社か  
ら当協議会が管理運営する湖美来基金に寄付して  
いただけることになりました。

電子マネー「ふくしま湖美来WAON」は昨年10  
月1日からイオンの県内各店舗におきまして発売さ  
れており、カードにチャージ(入金)することにより加  
盟店にてご利用いただけます。

県内の「ふくしま湖美来WAON」の販売店舗

- イオン郡山フェスタ店 ●ザ・ビッグ福島大森店
- イオン白河西郷店 ●ザ・ビッグ郡山店(イオンタウン郡山)
- イオン相馬店 ●ザ・ビッグ須賀川店(イオンタウン須賀川)
- イオンいわき店 ●イオンスーパーセンター南相馬店
- イオン福島店 ●イオンスーパーセンター鏡石店
- ミニストップ各店舗

「ふくしま湖美来WAON」で買い物できる店舗等

上記の県内の「ふくしま湖美来WAON」販売店舗、全国のイオン  
各店舗のほか、次の店舗でも買い物することができます。

- ファミリーマート ●マクドナルド ●ココストア
- 吉野屋 ●ヤマト運輸 ●鶴ヶ城売店
- ルートインホテルズ など

「ふくしま湖美来WAON」にチャージ(入金)できる店舗等

上記の「ふくしま湖美来WAON」販売店舗のほか、全国のファミ  
リーマートなどでもチャージ(入金)することができます。

使い方など詳細は

WAON公式ホームページ

<http://www.waon.com/> を御覧ください。

裏磐梯の湖沼環境を考える会議



▲銅沼

磐梯山の噴火により河川が堰止められるなどして形成された五色沼群は、磐梯朝日国立公園の磐梯山の北側に位置し、多様な植物群落や



▲もうせん沼

湿性遷移の観察の場として、また青色を基調とした美しい水色により、松原湖などとともに磐梯高原の水辺景観を代表する景勝地であり、観光客が毎年約190万人（磐梯高原・北塩原村）訪れるなどしています。

しかし、近年になってコカナダモなどの外来植物、ヨシやオヒルムシロ等の繁茂、それらによる景観の悪化、さらには水色の変化の指摘など、湖

沼をとりまく環境変化が懸念されています。

このような背景から、五色沼湖沼群の湖沼環境に関する情報交換及び調査研究を実施し、保全対策の基礎資料をとりまとめることを目的として、福島大学実践教育推進センター自然共生再生プロジェクト部が中心となり、平成23年11月に「裏磐梯の湖沼環境を考える会議」が設立されました。会議では、平成23～平成24年度に11湖沼を対象とした生態系、水質等に関する調査を実施し、その成果を取りまとめることとしています。

福島県猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例の一部改正について

県では「福島県猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例」を改正します。内容は以下のとおりです。

改正前

猪苗代湖流域の小規模事業場や一戸建ての住宅について、新たに浄化槽を設置する場合は、窒素を除去することができる浄化槽とする。

改正後

猪苗代湖流域の小規模事業場や一戸建ての住宅について、新たに浄化槽を設置する場合は、窒素及びりんを除去することができる浄化槽とする。



「りん」は私たちの体の構成要素であり、野菜などの食物から摂取され、排泄されます。「りん」が生活排水として湖に流入すると、湖内で水草などの栄養源となり、繁茂した水草が枯死・腐敗することにより水質悪化の原因となります。

このため、条例を改正し、猪苗代湖の流域ではりんを除去することができる浄化槽を設置していただくこととしました。この条例の改正は平成25年4月1日施行を予定しており、施行日以降に設置される浄化槽について適用されます。

窒素りん除去型浄化槽整備促進事業について

県では、「窒素りん除去型浄化槽」の整備促進を図るため、これまでの補助に加えて、11万円(定額)を補助しています。

補助対象は、猪苗代湖流域(猪苗代町のほぼ全域と郡山市湖南町)で汲み取り便所や単独処理浄化槽を廃止して窒素りん除去型浄化槽を設置される方です。

補助金の詳細は、郡山市、猪苗代町の窓口にお問い合わせください。

郡山市 下水道部下水道総務課 電話024-924-2351  
猪苗代町 上下水道課下水道業務 電話0242-62-5633

編集後記

年末の猪苗代湖応援キャンペーンでは、多数の方にメッセージをお寄せいただきました。ありがとうございます。いつも元気をもたらします★これからもふくしまのために歌い続けてください。」

「ふくしま 大好き！」  
などなど 多くの人が足を止め、猪苗代湖へ、そして、ふくしまへの想いを綴ってくださいました。

残念ながら、昨年11月に発表された「平成22年度全国湖沼水質ランキング」において、猪苗代湖の水質は大腸菌群数の基準値超過(4～11月までの測定のうち、8月の1回だけが主に自然由来の大腸菌群により超過)により、前年度に続きランク外となつてしまいましたが、本協議会が主催した10月の湖岸清掃において、悪天候にもかかわらず多数の方が美しい猪苗代湖を取り戻そうと真剣な眼差しでゴミ拾いに励む姿にも、ふるさとへの熱い思いや人々の絆を強く感じる事ができました。

私たちの日常に大きな爪痕を残した東日本大震災から1年、猪苗代湖では冬の湖面を彩った冬鳥達も北に帰って行き、湖岸の雪解けが春の訪れを告げます。  
四季折々に美しい表情を見せてくれる豊かな自然、世代や地域を越えて、ふるさとを大切に想う心とともに後世に残していきたいと考えます。

そのために私たち猪苗代湖裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会も皆様と手を携え、世代と地域を繋ぐ架け橋として取り組んでまいります。

「湖・美・来」